

# 宮城県感染症発生動向調査情報(第38週)

宮城県【平成25年09月26日】発行

宮城県保健環境センター

- 2013.9.16 ~ 9.22 ・ 第38週 -

TEL (022)257-7228

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							宮 城 県 (含む仙台市)				累計	第35週	第36週	第37週	第38週
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	患者数	患者数					
水痘	3 0.60	3 0.30	3 0.60		4 1.33		1 0.50	7 0.27	21 0.36	2,589	レ→	→	→			
流行性耳下腺炎		5 0.50			5 1.67		2 1.00	3 0.12	15 0.26	860	→	→	→			
百日咳											→	→	→			
感染性胃腸炎	10 2.00	24 2.40	7 1.40	4 2.00	15 5.00	1 0.20	45 1.73	106 1.83	12,486	◎→	◎→	◎→	◎			
手足口病	40 8.00	33 3.30	34 6.80	7 3.50	9 3.00	25 5.00	7 3.50	136 5.23	291 5.02	3,331	◎→	◎→	◎→	◎		
伝染性紅斑		1 0.10				2 0.40	1 0.04	4 0.07	471		→	→	→			
突発性発しん	2 0.40	3 0.30	8 1.60	4 2.00	4 1.33	2 0.40	3 1.50	12 0.46	38 0.66	1,414	○→	○→	レ→	○		
ヘルパンギーナ	3 0.60	18 1.80	10 2.00	2 1.00	2 0.67	6 1.20	4 2.00	18 0.69	63 1.09	1,925	◎→	◎→	◎→	◎		
インフルエンザ	1 0.13						1 0.02	2 0.02	15,680		→	→	→			
咽頭結膜熱	2 0.40						2 0.08	4 0.07	668		→	→	→			
流行性角結膜炎		4 1.33					4 0.67	8 0.67	127		→	→	→			
急性出血性結膜炎											→	→	→			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5 1.00	13 1.30		1 0.50	2 0.67	13 2.60	7 0.27	41 0.71	3,764	○→	○→	○→	○			
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→			
無菌性髄膜炎											→	→	→			
マイコプラズマ肺炎	1 1.00	1 1.00	2 2.00				8 8.00	2 0.40	14 1.17	705	→	→	→			
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→			
RSウイルス感染症		4 0.40	6 1.20	3 1.50	2 0.67	2 0.40	24 0.92	41 0.71	594	○→	○→	○→	○			
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1	1	5	2	1	3	2	：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ：発生または流行について、今後の情報に留意 し：発生が少なくなっている傾向							
	川崎病								【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 <a href="http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/">http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/</a>							
	不明発疹症							3								

## 今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)  
仙台管内 男性1名  
腸管出血性大腸菌感染症(O26)  
仙南管内 女性1名  
大崎管内 男性1名  
腸管出血性大腸菌感染症(O111)  
仙台管内 女性1名(第37週)
- 4類感染症: レジオネラ症  
仙南管内 男性1名  
仙台管内 男性3名  
レプトスピラ症
- 5類感染症: アメーバ赤痢  
仙台管内 男性1名  
風しん  
仙台管内 女性1名

\*男児、女児は6歳未満

## 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

## 今週の感染症のコメント - 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 -

[手足口病]  
全管内で警報継続中。

## 【病原体検出情報】

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第36週採取分 (9.2～9.8)	第37週採取分 (9.9～9.15)	第38週採取分 (9.16～9.22)
RSウイルス	2件	4件	3件
アデノウイルス	1件	0件	0件
エンテロウイルス	0件	1件	0件
単純ヘルペスウイルス	1件	0件	0件
サイトメガウイルス	1件	0件	0件

## [手足口病]

口腔粘膜および手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス感染症で、幼児を中心に夏季に流行する。今シーズンは大流行した2011年に次いで患者数も多く、全管内で警報が継続している。例年第40週過ぎまで流行が続くので今しばらく注意が必要である。

## 定点把握の対象となる5類感染症(全国 第36週)

(国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

**インフルエンザ**: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.72)、愛媛県(0.10)、徳島県(0.05)である。**RSウイルス感染症**: 報告数は2,551例と2週連続で増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約76%を占めている。**咽頭結膜熱**: 報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は大分県(3.00)、長崎県(2.64)、佐賀県(2.61)である。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は福井県(2.05)、北海道(1.52)、山口県(1.45)である。**感染性胃腸炎**: 報告数は増加した。都道府県別の上位3位は大分県(8.61)、熊本県(6.40)、島根県(5.70)である。**水痘**: 報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(1.36)、福岡県(1.23)、新潟県(0.93)、富山県(0.93)である。**手足口病**: 報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は新潟県(10.93)、北海道(10.35)、長野県(8.80)である。**伝染性紅斑**: 報告数は減少した。都道府県別の上位3位は富山県(0.72)、岩手県(0.18)、山梨県(0.17)である。**百日咳**: 報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位2位は鳥取県(0.26)、新潟県(0.05)である。**ヘルパンギーナ**: 報告数は第31週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は青森県(3.80)、新潟県(3.67)、北海道(3.36)である。**流行性耳下腺炎**: 報告数は減少した。都道府県別の上位3位は福井県(1.45)、高知県(0.93)、福岡県(0.55)である。**マイコプラズマ肺炎**: 報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.00)、群馬県(0.88)、青森県(0.83)である。

\* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。( )内の数字は定点当たり報告数となります。